



専従役員セミナーを開催

プレゼンテーションとアクティブリスニング

9月28日、JR九州労組の専従役員対象のセミナーを開催した。(株)組織開発コンサルティングの須崎雅子氏を講師に迎え「プレゼンテーションとアクティブリスニング」というテーマで中央本部の8名と各地本4名（長崎・大分・熊本・鹿児島）の計12名全員でWEB講義を受講した。

今、世の中は、人々が濃密な絆で結ばれており情報が広く共有化される「高コンテキスト（文脈・状況といった意味を表わす）文化」から、同質性が低くメンバー間で共有される背景や知識が限定されている「低コンテキスト文化」に移り変わってきている。よって“言わずもがな” “空気を読む” “お察してください”といった昔ながらのコミュニケーションでは、自分の思っていることが相手に伝わらなくなっている。正確に確実に相手に意思を伝えるためには言葉に出して伝えるということが今まで以上に必要であり、そのために具体的にどう行動していけばよいのか、実習を取り入れながら学んだ。今回は時期的にも総対話集会の直前であり、学んだ内容がすぐに実践に繋がる非常に有意義なセミナーとなった。

《セミナーでの質疑応答》

◆最近ではマスクをして話すことが多く、自分の表情が相手に伝わりにくいです。何か良いコツはありますか。

☛身振り手振りも有効ですが、話し方をゆっくり、はっきりして、メリハリをつけて話すのも良い方法です。

◆組合役員にプレゼンテーションのスキルを身に付けてもらいたいのですが、どう伝えたら良いですか。

☛スキルも大事ですが、伝えたい熱意が一番大事です。自分が「何を」伝えたいのかしっかり認識することです。

◆伝えたいことが多すぎて話が長くなってしまいます。

☛スマホなどで録画して自分の話し方を客観的に見ると今まで気づけなかった自分の癖などに気づけます。



WEBにてセミナーに参加した専従役員

相手の話を聞きだすためのポイントを紹介★
アクティブリスニング（積極的傾聴）
のために避けたいポイント！

- ① アドバイスする
- ② 説得する
- ③ 同情する
- ④ 自分が話し過ぎる
- ⑤ 否定、批判、反論
- ⑥ 話を遮る、言葉をかぶせる
- ⑦ 無反応
- ⑧ 話に集中できていない
- ⑨ 間や沈黙を大切にできない、我慢せずに話をしてしまう
- ⑩ 聴きたいことを聴く、話を誘導してしまう、自分のためだけに聴く

